



とっても上手な踊りでした。



前列左から淑江さん、和子さん、ハルさん、
後列左から順子さん、ミエさん、シゲさん。

神 社での神事も無事に済み、いよいよ山車の運行開始。秋田音頭が流れ、女の子たちの踊りが始まりました。男の子たちは山車の後ろに置いてある太鼓を、元気良くたたいています。

そんな子供たちを目を細めて見ていたのが、佐々木順子さん(白沢1区)、日景淑江さん(白沢1区)、小林和子さん(白沢1区)、日景ミエさん(白沢1区)、佐々木ハルさん(白沢1区)、佐々木シゲさん(白沢1区)。近所の皆さんが、子供たちの応援に来てくれました。「かわいらしい子供たちの姿を見るのが楽しみ」と淑江さん。以前はお祭りと言っても、お酒を飲むだけだったんですけど、山車ができてからは、楽しみにになりました」と和子さん。

女 性に年を尋ねるのもナンですが、シャキッと元気なミエさんに年を尋ねると、大正の生まれだとか。その元気の源は？「山に行くことかな。多少具合が悪くても、山に行くとスッキリ」だそう。自分ではあまり食べないけれど、山菜を採ってくるのだそうです。山にはいやしの効果があるのでしょうか？

白沢の水が良かったからなのかもしれませんね。はみだしてグッド参照。

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登場者数 517人
82,062人
(H20.5.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。

山 車は、白沢のもう一つの子供会「ひばり子供会」の詰所へ到着。もちろん、ひばり子供会でもお祭りの真っ最中。こちらは、伝統のおみこしです。

「白沢の山車も良いけれど、おみこしにはおみこしの良さがあるし、狭い道でも入っていただけるので、ウチはおみこしにしています。でも、だんだんと子供の数が減ってきているので、そのうちに一緒にならなきゃいけないかもしれないなあ」と子供会の阿部次男さん(白沢2区)。どうやら、子供会にも合併の波が押し寄せてきているようです。



ひばり子供会の次男さん。

宮 大工さんが作った豪華な山車も良いですが、町内のチカラを合わせて作った山車もとてもステキでした。何より、目標に向かって地域の皆さんが一つになること、そうそうあるもんじゃありません。小さなお子さんからお年寄りまで、みんな一緒に楽しめるお祭りって、やっぱり良いもんですね。では、次回もあつてグッド！



ひばり子供会のおみこし

白沢には、明治天皇が行幸した際に、炊事をまかされたわき水(白沢御前水)があります。現在はそのままの飲用が禁止されています。